

足もとの地域から「平和の文化」を考える



講師：池田恵美子さん

NPO法人安房文化遺産フォーラム事務局長

NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事、公益財団法人地球友の会理事

日時 平成25年5月3日(金) 13:30～16:30

会場 南総文化ホール大会議室 入場無料

私たちが暮らす安房地域は、明治期から東京湾要塞として砲台が設置され、アジア太平洋戦争の末期には本土決戦「第二の沖縄戦」にそなえて特攻基地もつくられ、終戦直後にはアメリカ占領軍 3,500 名が上陸し、館山は「4日間」の直接軍政が敷かれたといわれています。そればかりでなく、沖合に沈みこむ2つのプレートの影響を強く受け、日本で一番隆起しているといわれます。くりかえし起きる戦乱や地震・津波の困難を乗り越えてきた先人たちは、平和や平安への願いを「安房」という地名にこめたのかもしれませんが。憲法記念日にあたり、足もとから「平和の文化」を学び、安心・安全に暮らせる地域社会のあり方について、皆さんとともに考えたいと思っています。学習会終了後には、第19回安房地域母親大会の開催に向けて実行委員会をひらきます。多くの方々のご参加をお待ちしています。

主催：第19回安房地域母親大会実行委員会 実行委員長 田中房江

構成団体：NGO新日本婦人の会館山支部、NGO新日本婦人の会鴨川支部

安房地域市町村職員組合連絡協議会安房地区女性連絡会

全日本年金者組合安房支部、NPO法人安房文化遺産フォーラム

問合せ先：0470-27-5867(齊藤)、0470-28-3711(関)

～生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることを望みます～

【予告】

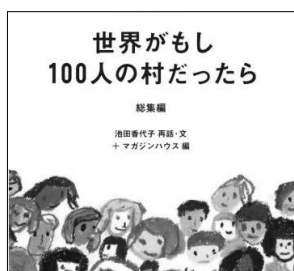
第19回安房地域母親大会

日時 平成25年6月29日(土) 13:30～16:30

会場 館山商工会議所会館ホール 参加費 300円

『世界がもし100人の村だったら』の翻訳者

池田香代子さんをお迎えして、**憲法学習会!**



【プロフィール】 いけだかよこ

2011年9月11日、アメリカ同時多発テロ事件を機に、『世界がもし100人の村だったら』を翻訳出版し、ベストセラーとなる。その印税で「100人村基金」を立ち上げ、NGOや日本国内の難民申請者の支援を行なっている。

1995年に核兵器廃絶と世界平和の構築を旨として発足した「世界平和アピール七人委員会」のメンバー。「国連持続可能な開発のための教育10年」推進会議(ESD-J)顧問。